



森のなかま

2015年9月号

NO. 89号 (継続234号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102



森林部会『チェーンソー研修会(初級者コース)』が開催

場所:やどりき水源林 日時:6月28日(日)10:00~15:30、晴れ

< 森林部会 石川 裕一 12期 >

(写真提供:滝澤 洋子 5期)

6月28日、やどりきボランティア林A上部にて、森林部会主催のチェーンソー研修会が行なわれました。初心者対象の募集に“自称”初心者13名がウシロ沢出合に集合しました。オリエンテーション後、チェーンソー5台を含む機材を全員で分担して現地まで運び上げました。幸い遅れる参加者もなく第2櫓の手前のベンチに到着しました。



サイトまでの登り

テキストの説明と「チェーンソーに安全装置は付いているが、万全とは限らないので自分の身は自分で守りましょう。」という安全に関する注意の後、班毎に3本の伐倒対象木が待ち受ける場所に移動しました。

KYK - でいぞ “ヨシ!!”

講師説明



最初に講師の説明とKYK(危険予知活動)にて班目標を指差呼称の後実習開始。1, 2班はブレーキ操作、横置き丸太切りと事前に1m程に伐倒済みの立木で受け口・追い口切り、他班は、実習用立木作りから始めました。

受け口を作る



チェーンソーで伐倒



受け口はうまくできたかな



掛かり木になり、最初の伐倒に手間取ったのは反省点と言えます。「キックバックに注意」、「土を伐らない」等意識することが多いため初めはぎこちなかった動作が午後にはかなりなめらかになってきて、最終目標の間伐作業をして下山。

チェーンソー整備



下山後には休憩棟裏で使ったチェーンソーの手入れをしました。時間の足りなさを感じましたが、最後に講師からは少しでも長くチェーンソーに触って慣れて下さいという激励の言葉が送られ、山蛭(ヤマビル)に咬まれた人はいたもののチェーンソーに噛まれた人はおらず無事に研修会を終えることができました。

(参加者 13 名、講師/森林部会 : 佐藤武晴⑤、大澤斗志郎⑩、松永廣⑪、

石川裕一⑫、講師補助: 滝澤洋子⑤ 各氏)



自然観察部会 「2015年度自然観察部会研修会」

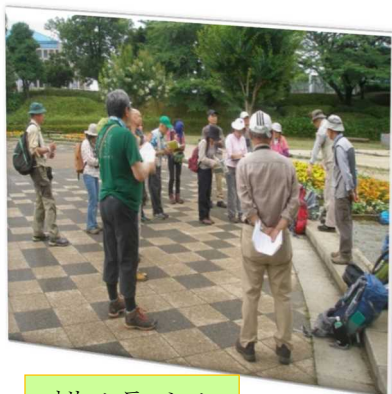
6月27日(土)9:30~15:15、天候:曇り、

場所:県立座間谷戸山公園 参加者:19名

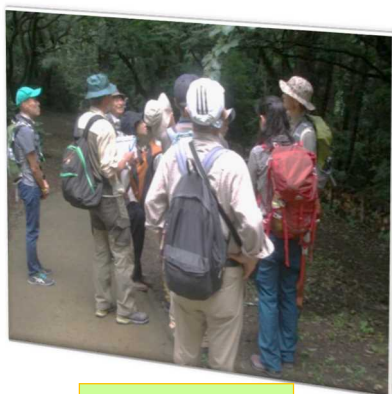
< 自然観察部会長 松永 廣 11期 >

講師:野田 重雄 氏 8期、女川 修 氏 9期

自然観察部会では年に一度自然観察の知識技術説明などのレベルアップのため研修会を開催しています。本年度は県立座間谷戸山公園において、8期野田重雄氏、9期女川修氏に講師を依頼して自然観察の方法、見方、心構えを中心に実践向きの研修会を開催しました。



オリエンテーション



研修風景①



研修風景②

参加者19名を2班に分けて午前、午後別々の講師から説明を受けることにより、同じ“もの”を観ても感じ方、説明の仕方は人により様々であることを学びました。一番重要なことは目に入った目の前にある“もの”を説明すること、そして自分の“ことば”で話すことが大切であることを再確認しました。時々図鑑などを見ながら説明する人がいますが、同じ説明でも自分の“ことば”で話せば参加者は耳を傾けてくれます。そして自分も楽しむことです。自分が楽しくないものは相手も楽しくありません。植物の名前などを覚えることに集中して安全配慮や廻りの一般市民を無視した自然観察は長続きしません。自然観察の技術を上げるには下見をきちんと実施することです。必要であれば納得のいくまで何回も下見をすることです。今回の研修で下見の重要性が再認識できたと感じました。他のNPOなどで開催している自然観察会などにも参加して自分の技術を磨いて下さい。本日は雨模様の天気予報でしたが天気が回復して薄日がさすこともあり参加者全員が納得のいく研修会であったと思いました。

此の日見られた植物の一部



タマゴダケ



ハナイカダ



マムシグサ



ヤブカンゾウ



キツリフネ

タイサンボク
(帰化植物)

ご存じでしたか **神奈川県**の**全河川**の（大小に関係なく掲載）位置と
かながわインストラクターのメイン活動場所「**やどりき水源林**」の位置

横浜や川崎を含む神奈川県の水道の約6割が相模川、約3割が酒匂川でまかなわれています。相模川に流れ込む水の多くは山梨県から流れてきています。また、酒匂川も静岡県からも流れてきていますが、酒匂川の多く水は丹沢山系が源流です。私達はその一角のやどりき水源林での水源林保全活動や森の案内人等様々な活動をおこなっています。



写真撮影：神奈川県境川遊水地公園情報センター展示板資料より

活動短信



螳螂生(6/5～6/10)

かまきりしょうず

第二十五候 芒種 初候



温風至(7/7～7/11)

あつかけいたる

第三十一候 小暑 初候

今回の掲載は
6/7～7/7です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

緑の募金
シンボルマーク緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会は
『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。
全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ 第31回神奈川トヨタプリウス森木会

日 6月7日(日)10:00～15:00、晴れ

場 やどりき水源林

スタッフ 島田部長、佐藤様、寺嶋様他6名

参 25名(男性9名、女性10名、子供6名)

県 増田様 看 萩原様

イ L福島⑪、森本⑤、白畑⑦、草野⑧、小沢⑨、
宮下⑩、山下⑪、吉田⑪

朝の天気は曇天。雨が降ってもおかしくないような天気でした。今日の活動は本来先週の5月31日(日)の予定だったが、天気予報が雨だったため延期になった活動である。雨にはなってもしくはない。幸いに9時過ぎ頃から太陽が顔を出して青空のもと快適な1日となった。前回同様、森林ウォーキングと水辺のいきもの観察を行う。延期開催のためお客様(トヨタプリウスに乗っていらっしゃるトヨタのお客様)は当初の予定の1/3の25名と少なくなった。全体を4分割して1班が6名程度。しかしこれできめ細かい密度の濃い案内や説明ができる。お客様は、やどりき水源林は初めてか2回目くらい。老若年齢は幅広い。皆さまこの寄の自然の中で過ごすことに期待をしていらした。森林ウォーキングを担当したが、初夏の森の気配をいっぱい吸い込んでのんびりと森の中を歩きその自然を味わってもらおう。

午後は、午前中水生生物観察を行った班の案内を行い、お客様皆山を満喫された。神奈川トヨタのスタッフの方たちは、説明用の小冊子を配布したり、クイズをしたりと色々素敵な工夫をされていた。我々も参考にして、より良い「おもてなし」が出来るのではないかと勉強になっ

た。今日は、ヒルも居たが、献血者は1名だけ。その他にはヒヤリ・ハットは無く無事に天気／気温とも恵まれた1日の活動を終了した。

(記 吉田 郁夫 11期)

◆ 横浜市市立西寺尾小学校

上郷・森の家 宿泊体験学習

日 6月10日(水)13:00～20:00、晴れ

場 横浜自然観察の森(ミズキの森)

参 小学4年生56名、教師5名

イ L松永⑪、渡辺③、堀江④、渡部⑦、
内山⑬、大原⑬、藺田⑬、長尾⑬

横浜自然観察の森にて横浜市立西寺尾小学校 4 年生宿泊体験学習の自然観察及びナイトウォークとしてホテル観察を行った。4年生1グループ7名で各グループに1人ずつインストラクターが入り、高低差のある「ミズキの道」コースを100分間、自然観察しながら歩いた。音量のあるガビチョウやヤマガラ、ウグイスの鳴き声やタイワンリス、クワの実、ヌルデに興味をしめしていた。オカトラノオやイワタバコも鑑賞できた。子供たちの興味を持った時のキラキラ輝いた目や森の中で目をつむり、深呼吸後の気持ちよさそうな顔が印象に残る。夕食時の談笑も愉快。上郷・森の家で、自然観察のグループと一緒に食べる。料理はとんかつ。子供たちは美味しい美味しいとおかわり。食後 19 時からグループに分かれてナイトウォーク。ゲンジボタルの湿地へホテル観察に向かう。みちのりは月あかりのみだが、徐々に目が慣れ、子供たちの不安も少なくなる。そこにポツン・ポツンと光が宙を舞う、50頭のゲンジボタルの乱舞。幻想的な空間をしばし、眺め帰路につく。子供たちからお礼の言葉をいただき、解散。事故もなく、堪能できた自然観察会であった。

(記 内山 堅 13期)

余談:(蛍や蝶は頭と数え、兎は羽と数えるそうです。)

◆ 厚木市立緑ヶ丘小学校

自然に関する授業

日 6月11日(木)11:00～13:30、曇り

場 厚木市七沢自然ふれあいセンター

参 108名(生徒103名、教師 男性3名 女性2名)

イ L武者⑦、島岡③、増子③、宮本④、有坂⑧、
谷川⑪、藺田⑬、小川⑬、武井⑬、真部⑬

つどいの広場に11時前、全員集合。挨拶、紹介、体操後10班に分かれそれぞれのインストラクターに付いて出発する。

奥平谷林道を途中で折り返すコースである。森林の役割、森林の大切さ、水源林、自然林、人工林など説明しながら林道脇の動植物を観察しているとアオダイショウの死骸やヤマビルに遭遇。血を吸ってコロコロに大きく変化したヤマビルに児童達は大騒ぎ。又、葉の付き方に特徴があるコクサギを観察して対生、互生等 樹木の葉の付き方や赤い実の付いたオニシバリやマムシグサの名前の由来など大いに興味を持ったようだ。

帰りのけやきの広場で「お昼」の時間を取る。水辺の広場に降りカニを見つけたり、この水は先程上で見た山はだから染み出していた水だとまた大騒ぎ。食後、振り返りで、それぞれのインストラクターに質問し、メモをとっていた。

13時半、朝のつどいの広場で無事解散式を行った。これからカレーを作り、明日は間伐材でスプーンを作ると言いながらみんな満足そうな顔をしていた。

(記 武井 直人 13期)

◆ 伯東グループ 第6回森林活動

日 6月13日(土) 10:30～12:30、晴れ
場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド
参 管理統括部 CSR推進室

臼居様他12名(男性11名、女性1名)

イ 村井⑨

1人インストラクターの活動なので、9時半には塚原に着き、用具をメンバー分倉庫から出して、移動し、伯東様の看板付近にヘルメット、長鎌を並べて、到着を待つ。

少々時間があるので現地下見に行く。背丈ぐらいのヒノキ林にタケニグサ、クサギ、タラノキ、イバラ類が密集していた。春の初めの下見ではまったく成長を妨げる草がなかったので、今回は充分活動して頂けると嬉しくなりました。

毎年参加されている皆様でしたが、基本的な注意事項、ストレッチ後10時40分スタートし作業にかかりました。ヤマボウシの白がまぶしく、周辺の山々は濃い緑に初夏の到来を告げているかのようでした。汗を拭い

水分補給し猛暑の中の作業でしたが、たまに吹く風は頬に冷たく心地よいものでした。見る見るうちに刈り取られ綺麗になったヒノキ林に一同感激しヒヤリハットもなく12時作業終了。長鎌を全員で研いで、記念写真を撮られ、お楽しみの次の会場へ向かわれました。

(記 村井 正孝 9期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。
かながわの水環境の
保全・再生をめざして
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/17006/p23426.html>

◆ 横浜市立都田小学校 愛川体験学習 ～愛川の自然を学ぼう～(高取山登山)

日 6月16日(火) 9:30～15:00、晴れ
場 愛川ふれあいの村 高取山
参 小学4年生 63名、教師 7名
イ L西出⑫、堀江④、渡部⑦、村井⑨、
上田⑩、松山⑩

朝から天気はあまりよくなく降雨の心配があったが子供たちが到着する頃には薄日がさしてきました。

予定通り登山をすることになり、10時にふれあいの村事務棟前の広場で、オリエンテーションを行い6班に分かれて高取山頂を目指して銀杏の並木道を歩きはじめました。林道までの間はまだ体が慣れていないこともありみんな少し疲れた様子だったが、第一回目の休憩をとった後、歩くに従い林層が次々に変わる様子に興味を示し、小鳥の声に立ち止ってその姿を探したり、それぞれに非日常的な世界を楽しみながら歩み、予定通り山頂に到着することができました。

昼食時には少し雨がぱらついたが、濡れるほどでもなくお弁当と、頂上の展望をゆっくりと楽しみながら過ごすことができました。

下りは少し遅れた班もありましたが大きな問題もなく、予定の時刻に下山することができました。軽い捻挫(歩くことに支障はない程度)と小さなヒルとの遭遇が2例ありました。(一例は若干吸血された)都田小学校の子供たちは各班それぞれにまとまりがよく、危険な行動をすることもなく、いろいろなことに興味を示しながらインストラクターの話をよく聞いてくれました。

(記 上田 啓二 10期)

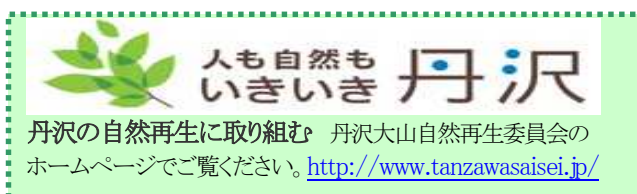
◆ 株式会社鈴廣蒲鉾本店 森林間伐体験

- 日 6月20日(土) 10:00～12:30、曇り
 場 やどりき水源林「恵水の森」
 参 鈴廣様顧客 7名、鈴廣本店スタッフ2名
 県 増田様
 イ L阿部⑧、西出⑫

梅雨の最中、天候が心配されましたが、曇り空ながら実施できました。ただ、天候の影響か、当初、20名の参加予定が7名となり、1班体制となりました。この所の降雨でヤマビルの被害を覚悟して、薬の噴霧等、参加者にできる限りの対策を取って臨みましたが、幸い被害もなく、またヒヤリハットもなく、無事間伐を終える事ができました。

増田様と我々2名は9時に集合して、道具を準備して参加者を待ちました。10時過ぎに参加者とスタッフが到着し、挨拶、増田様の水源林と森林整備に関する講話、ストレッチを行った後、出発しました。11時に現場に到着して、ほとんどの方が未経験者のために伐倒の手順を説明して、作業に取り掛かりました。他の班を気にする必要がないため、選木、伐倒方向を簡単に終えて、ロープを掛けてから、伐倒に取り掛かり、27年生のヒノキを1本倒して、枝払い、玉伐りを行いました。やはり、初めて経験する方には15m程の木が倒れる瞬間の迫力には感激の様子で、一様に「ワー、すごい！」の声が出ました。12時に作業を終了して、倉庫に戻って道具の手入れを行い、解散しました。皆さん、香りのいいヒノキのコースターをお土産に、満足な様子でした。

(記 西出 健一 12期)



◆ 横浜市立菅田小学校

高取山・仏果山登山

- 日 6月22日(月) 9:00～16:00、曇り
 場 愛川ふれあいの村(高取山・仏果山)
 参 39名(小学5年生35名、教師4名)
 イ L堀江④、武者⑦、内野⑨、大原⑬

梅雨の中休み、薄曇りで気温もあまり高くなりず登山

日和となった。登山の安全や班の自主性に配慮しながら、下見で決めた休憩・給水ポイントで子ども達の様子を確認する。みんな元気で登山を楽しんでいるようで安心する。休憩時には、水源林の役割や宮ヶ瀬ダム的重要性、人工林の手入れやスギ・ヒノキの木材について話す。高取山で昼食後、仏果山に向かう。途中で急な下りや痩せ尾根やハンゴや岩場などもあったが注意を喚起し、子ども達は真剣に対応していて不安に感じることはなかった。仏果山周辺でイチヤクソウなど何種かの珍しい花が見られて、自然の豊かさを感じたようだ。登山が初めての子どもが多かったが、全員が無事に目的を達成できた。登山を通して自然を体感した貴重な経験は自信につながるだろうと思う。各班に先生が一人付き添ってくださったので大変心強く感じた。雨上がりだったせいかヤマビルが多く、這い上がってきたものは捕まえて塩漬けにしたが、3名が被害にあった。

(記 内野 ミドリ 9期)

◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第2回

- 日 6月27日(土) 9:30～15:00、曇り
 場 川崎市麻生消防署(普通救命講習)
 古沢都古緑地(竹林整備実習)
 参 講習26名、実習28名
 スタッフ 川崎市公園緑地協会 野牛様他1名、
 人材バンク5名、
 講師1名、講師補助2名(麻生消防署救命士)

- イ L門澤⑫、中元⑩、溝田⑬

- 座学・実技(普通救命講習) 9:00～12:00
 - 心停止の予防 (2)心停止の早期認識と通報 (3)一次救命処置 (4)二次救命処置と心拍再開後の集中治療 (5)心肺蘇生の手順 (6)AED使用の手順 (7)気道異物 (8)止血。
 実技は3グループに分かれて実施。安全確保、傷病者の反応確認、周囲の応援依頼、119番通報・AED手配、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる電気ショック、その他。
- 竹林整備実習 13:00～14:40
 - 3班に分かれて実施。伐倒方向の考え方、玉切り、枝払いの仕方、片付・整理の仕方などをデモンストレーションした。受口、追口、地際での切戻しを実演後、作業を開始した。初心者と中級車の人数割合は

半々くらいで、班によって作業地形に違いがあり、疲労度にばらつきがあった。疲労度の大きいグループは早めに作業を終了してよいが、他のグループとの差を考え、笹刈りなど平易な作業で時間調整するとよい。

3. 道具の手入、まとめ、次回案内、質疑応答

14:40～15:00

4. スタッフミーティング、反省会 15:00～15:20

(記 溝田 幸和 13期)

◆ 横浜市立能見台南小学校

上郷宿泊体験学習

日 6月30日(火)13時～21時、曇り

場 横浜自然観察の森

参 4年生134名 教師等16名 計150名

イ L内山⑬、渡辺③、堀江④、杉戸⑥、伊藤⑦、村井⑨、海野⑩、松永⑪、大原⑬、菌田⑬、長尾⑬、真部⑬

子どもたちは学校から自然観察の森まで2時間半ほどの道のりを歩き、午前の活動と昼食を終え、13時に集合していた。まずは前半、みずきコースの森林探索に出発。森のレンジャーから危険な動植物の説明があったので不安そうに歩き始めたが、すぐにきのこの種類の多さ、トンボや巨大なミミズやアリの行列などにも歓声があがった。偶然ヘイケボタルが見つかりじっくりと観察できたが、ウグイスやタイワンリスは声だけで少し残念だった。コサギの葉のにおいも体験し、水源のきれいな水の冷たさにも触れて、五感で森とのふれあいを楽しんでいるようだった。

夕食とキャンドルファイヤーの後、いよいよ後半、ホテル観賞のナイトウォーク。あいにく雨がぱらつき飛んでいるホテルは少なかったが、葉っぱのかげで明るい光を放っていた。今回の活動では、熱心に話を聞きメモをとる子どもたちも多く、説明にも自然と力が入った。

これからも多くの生きものたちに興味をもち、楽しい自然体験を重ね、知識を増やしていってほしいと思う。

(記 真部 幸枝 13期)

◆ 横浜市立綱島東小学校

愛川体験学習～中津川ハイキング 変更⇒焼き板～

日 本番7月7日(火)、雨

下見6月27日(土)、曇り

場 愛川ふれあいの村

参 小学5年生110名、教師9名

イ L島岡⑨、堀江④、武者⑦、小野⑦、渡部⑦、村井⑨、谷川⑪、松本⑪、加藤⑫、西出⑫、小川⑬、真部⑬

生憎の雨のため中津川ハイキングは中止となり、12:30に愛川ふれあいの村でのクラフト活動(「焼き板」)に変更になりました。インストラクターの集合ミーティングを行い、やるべきことの確認、注意事項等の打ち合わせ後に作業活動に入りました。初めの活動は、多目的ホール横でのガスバーナーで木の板全面をムラ無く焦がし、最適な焦げ具合の「焼き板」を作ることでした。ガスバーナーを使うことによる安全面には、特に注意し全員分を完成させました。その後、「焼き板」に金具とひもを取り付ける作業が残り「錐(きり)」による下穴開けを手伝いました。完成品を見ると個性ある作品に仕上がっていました。

学校の要望にて、30分自然散策を小雨の中12班に別れ、それぞれのインストラクターのもとで行いました。

最後に、小学生代表によるお礼のこぼ「焼き板のとき優しく教えてもらった。散策のとき詳しく教えてもらった・・・等。」の発表がありました。そして、インストラクターによる反省会を実施し、一日を振り返りヒヤリハットもなく当初の目的を達成したことを確認して解散の運びとなりました。

(記 加藤 久雄 12期)

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研 研修枠
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は10月号です。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林 ミニガイド

8月のトピックス

やどりき水源林のつどいが
8/15(土)に今年も開催されました。



(詳細は来月(10月)号に掲載します)

9月の水源林

残暑も、やどりきに来て森や川で暑さを回避しませんか。森や川はマイナスイオンで健康になります。森の案内人がお待ちしています。

「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集 合: 水源林入口ゲート前
- 内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

- 問合せ: (公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

あしがらの里 足柄峠笛まつり



9月13日(日) 10:30~15:15
足柄城址・聖天堂(足柄峠付近)
南足柄市観光協会 TEL: 0465-74-2111
http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kankou/matsuri/hue_maturi.html

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保 (Eメールアドレス変更)

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 事務局長へ

〒214-0006

川崎市多摩区萱仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★まだ暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配…。会社近くの栃の実とドングリが今年も豊作です。これから2ヶ月は収穫とクラフト用の下処理で大忙し。既に部屋の中は、秋到来です。

大塚(*▽)/★☆☆♪

★望遠レンズ買っちゃいました。自分にご褒美とかいう言い訳ですけど。写真の表現の幅は広がった気がします。財布は縮みました。

(赤崎)

★岩手県の花巻市大迫(おおはさま)にある早池峰神社で毎年7月31日に神楽が奉納されています。今年は友人と連れ立って鑑賞に行ってきました。兎にも角にも一見の価値があります。

(小川)

★久々の雨かと喜んでいたら、庭の草が伸びて大変です。

(水口)

★糸魚川構造線フォッサマグナエリアを車で糸魚川から小谷村、白馬村、旧鬼無里村、小川村と。昨年11月の長野北部地震のコアエリアです。地震の影響で至る所が工事だらけでした。

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

広報部: 水口俊則 徳岡達郎

大塚晴子 赤崎さほり

小池 哉 小川和恵 蘭田栄哉

支援 伊藤恭造

森林探訪

【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

【森林探訪申込先】往復ハガキにイベント名、参加者全員の氏名・住所・電話番号・年齢を記入し、〒245-0016 横浜市泉区和泉町6206-1 グレーシアいずみ野105号 松永 廣まで(☎050-8880-3465)
かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

9月26日(土)

8時30分~15時

会員 500円

一般 1,000円

80人(先着順)

受付: 8/1~9/19

大雄山最乗寺

「苔むす樹齢500年の
スギ巨木林を訪ねて」

【講師】NPO法人かながわ
森林インストラクターの会
【集合】伊豆箱根鉄 道大雄山線
大雄山駅

【コース】大雄山駅~てんぐのこみち~道了尊~奥ノ院~ハイキングコース~道了尊(奥ノ院への354段の階段を登りハイキングコースを歩きます)

